

平成29年度 山口大学教育学部 理科ちゃぶ研修会

「深い学び」をどのように捉えるか

～「理科の見方・考え方」を通して養うべき理科の「資質・能力」を踏まえて～

開催要項

1. 趣旨

これまでの学習指導要領では、「科学的な見方・考え方」が理科で養う目標となっていました。しかし、新しい学習指導要領では、「理科の見方・考え方」を働かせて、理科の「資質・能力」を養うことに変更されています。本研修会では、「理科の見方・考え方」や理科で養うべき「資質・能力」を紐解きながら、主体的で対話的な「深い学び」とは何かを考えることを通し、これからの理科教育への理解と意欲の向上を図ります。

2. 主催：山口大学教育学部 ちゃぶ台理科ネット

3. 後援：山口県教育委員会

4. 開催日時：平成29年12月23日（土） 13：15～16：30

5. 開催場所：山口大学教育学部 21番教室（山口市吉田1677-1）

6. 参加者：教員志望学生、小・中学校教員、大学教員、教育委員会・教育機関関係者など

7. 参加費：無料

8. 内容等：

開会行事（13:15～13:20）

主催者挨拶 山口大学教育学部 学部長 丹 信介

第Ⅰ部：講演

1) 「新学習指導要領をどのように捉えるか」 (13:20～13:50)

山口県教育庁義務教育課 指導主事 徳光 和也

2) 「理科における「深い学び」を考える」 (13:50～15:00)

広島大学大学院教育学研究科 准教授 松浦 拓也

～ 休憩 15:00-15:20 ～

第Ⅱ部：実践報告

1) 「生きた知識が身に付く小学校理科学習モデルの構築

～問い直しによって、気付いて学ぶ活動と学習した内容を結ぶ提案～」 (15:20～15:50)

やまぐち総合教育支援センター 長期研修教員 濱田 篤司

(下松市立花岡小学校教諭)

2) 「生きた知識が身に付く中学校理科学習モデルの構築

～使ってみることで、気付いて学ぶ活動でつかった知識の質を高める提案～」 (15:50～16:20)

やまぐち総合教育支援センター 長期研修教員 高村 大輔

(長門市立深川中学校教諭)

総括 (16:20～16:25) 山口大学教育学部 教授 村上 清文

閉会行事 (16:25～16:30) 山口大学教育学部 副学部長 和泉 研二

9. 参加申し込み方法

申込方法：本事業のメールアドレス (rika-gp-ed@ml.cc.yamaguchi-u.ac.jp) 宛に、件名を「理科ちゃぶ研修会申し込み」とし、本文に「氏名」、「所属」、「連絡先」を12月21日（木）までにお申し込み下さい（当日参加も歓迎します）。不明な点についてのお問い合わせも、上記メールアドレス宛にお願いします。